# 不正をなくし、町民の願い実現を

6月議会が始まります。5月31日に一般質問通告が締め切られ、通告者は、西澤議員ただ一人でした。大変さみしいかぎりです。一般質問通告の要点などを紹介します。

**Ⅰ、官製談合疑惑について**
①現時点でも落札業者と前町長ら行政幹部が関与したと強く推認される。そうなった場合「競争入札妨害」告発など行政としての対応が求められるのでは。②談合情報があった場合に提出を求める「誓約書」の効力はどのようなものか。
③公平な入札制度導入に向けた準備と課題は。

**Ⅱ、湖東圏域公共交通総合連携計画について**
①甲良町は甲良町の地形・公共施設の配置状況・町民ニーズなど独自の課題があるはず。「大都市」彦根市に従属することはないのでは。②対等平等の連携のためには、独自の計画が何よりも先行する必要があるのでは。

**Ⅲ、農業振興について**
①政府の個別保障を甲良町農業の現状に照らし、どう見るか。
②生産者組織の育成の現状と課題は。
③一刻も早く直販所活動の成功のための支援と展望を開くための緊急の処置について。
④「ふるさと交流村計画」の今後。

**Ⅳ、国民健康保険問題の根本的解決のために**
①「国庫負担の大幅増額」は切実な大同団結できる要望。
②県下一の「短命自治体」返上、命の平等を町政の中心に。
③滞納者の分納相談に温かい心を。

## 事実の解明こそ、私たちの責務

3日、議長から局長訃報の連絡で緊急に招集がありました。その後、委員長の会見に同席しました。「疑惑の解明と言う、事実の調査をすすめる過程で、今回大変いたましい事件への展開を残念に思っています。」「百条委員会としては、今後、議会事務局長の無念を受け止め、官製談合疑惑の真相解明のため全力をあげる所存です。」との藤堂一彦委員長の立場を支持して、疑惑にかかわる事実を明らかにし、良識が通る町にするため、立場の違いをこえて一致協力してまいります。

### 「真相解明 全力あげる」

甲良町議会事務局長死亡 百条委が思い新た

甲良町議会事務局長の訃報を聞いた町議会の官製談合疑惑調査特別委員会（百条委員会）の委員は三日、緊張した様子で町役場に集まり「談合疑惑の真相解明のため全力をあげる」との思いを新たにした。

「疑惑の解明を進める過程で今回のことが起こり、大変残念に思っています」。百条委の藤堂一彦委員長は緊張した面持ちで、語った。各委員は一日にあった議会運営委員会での局長の様子について「いつもと違って精彩を欠いていた」「少し落ち込んでいたように感じた」と振り返った。

百条委は昨年七月に町が発注した福祉施設建設工事などの指名競争入札をめぐり、今年三月に設けられた。五月三十一日に喚問された局長は、官製談合疑惑への関与を否定し「（官製談合があったかどうかは）正直分からない」と証言した。百条委は同日付で局長の議会への出向解除を要請する決議をし、北川豊昭町長に提出した。

百条委はこのほか、前町長や元総務主監、議長、落札業者の代理人で町議の四人が証人として喚問され、四人は談合に関する会話を記録したとされるCDの内容を否定している。百条委は今後、これまでの証拠資料や証言などを基に、弁護士ら専門家に意見を聴き、引き続き真相解明を目指す。

町役場では、三日朝に緊急の課長会が開かれ、約二十人が出席。戸惑いを隠せない職員らを前に、北川町長は「大変ショックなことだが、動揺せずに平常通りに働いてほしい」と呼び掛けた。

八日の予定だった町議会開会日は十一日に延期された。

中日新聞➡
6月4日号

## 6月議会予定

当初議会運営委員会で予定していた6月議会の日程は都合で変更になる見込みです。

- ●8日（火）午前9：00開会
  町長提案のみ（予定）
- ●11日（金）午前9：00開会
  質議・討論・採決など、一般質問
- ●その他の日程は協議中（7日に通知の予定）

本会議は**傍聴できます**

**募金のお願い**　日本共産党は企業献金も政党助成金も受け取らず、党員の党費、募金などの資金で活動しています。


**甲　良　民　報**
2010年6月6日　　448号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明　甲良町在士463
Tel.Fax38-4949



メール　siga-koura463@jcp-nobuaki.com　ホームページ：グーグル「西澤伸明」で検索　☆日本共産党の見解を紹介します。